

様式16.3-1-1(バルク様式4-1-1)

設備工事(バルク貯槽)届書(別紙1-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 藏 能 力		Kg (Kg × 基)	
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添付書類
3号イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋設式 容積 _____ m ³ 材質 _____	製品仕様書及び 明細図
3号ロ	保 安 距 離	用途地域等(①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 構造壁等の有無 有・無	設置場所付近配置図 (保安距離を示す) 構造壁等の配置図、 構造図 施工時写真
3号ハ	(1) 安 全 弁 及 び 安 全 弁 元 弁	①試験合格品・②大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置 所要吹出し量 W ₁ = _____ kg/h 規定吹出し量 W ₂ = _____ kg/h	
	(2) 液 面 計	①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方 式 : _____	
	(3) 過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	(4) カップリング用液流出 防止装置付き液取入弁	①試験合格品・②大臣認定品	
	(5) ガス取出弁及び ガス放出防止器等	①試験合格品・②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	(6) 液 取 出 弁 及 び ガス放出防止器等	①試験合格品・②大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置(①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	(7) カップリング付き均圧弁	有(①試験合格品・②大臣認定品)・無	
	(8) 付属機器(1)~(7)の保護	プロテクター厚さ _____ mm	
	(9) 警 戒 標	表示内容:液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	(10) 緊急連絡先の表示	表示内容:	施工後写真
	(11) 腐 食 防 止 措 置	1. 鑄止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μ m 3. 電気防しきょく措置(地下貯槽) ①有(マグネシウム _____ kg × 本)・②無 防しきょく電位測定端子・プロテクターとの 電気的絶縁・配管との絶縁継手等	施工時写真
	(12) 支柱又はサドル等	①支柱・②サドル・③その他	施工後写真

設備工事（バルク貯槽）届書（別紙1-2）

3号二 （地上貯槽）	(1) 基 础	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	(2) 車輌が接触しない措置	措置方法：	施工時写真
	(3) 支柱又はサドル等の固定		施工後写真
	(4) 接 地	接続線の断面積 _____ mm ² 接続方法： 接地棒の直径 _____ mm 長さ _____ mm	施工後写真
	(5) 安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ cm	施工後写真
3号ホ （地下貯槽）	(1) 頂部は地盤面下30cm以上	頂部埋設深さ _____ cm	施工図面・施工時写真
	(2) 埋設場所に車輌乗入不可の措置	措置方法：	施工後写真
	(3) 浮き上がり防止措置	バルク貯槽空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m ³ コンクリート板の容積 _____ m ³	施工図面・施工時写真
	(4) 石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5) ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	位置図・施工時写真
	(6) 標識杭の設置		位置図・施工時写真
	(7) プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽仕様図面
3号へ	2m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法：	配置図（火気距離示す） ・構造図・施工後写真
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa	
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有・無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、 告示に定める要件に 適合する資料
6号	貯槽と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	① 単段減圧式をプロテクター内 ② 二段減圧式一体型を貯槽の直近 ③ 二段減圧式分離型の一次側をプロテクター ④ その他	施工後写真
7号	規則第18条第4~7号、第8号の2~ 16号、第18~22号の基準	(別紙3)	
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽～調整器 _____ MPa 調整器～メータ _____ MPa 一次調整器～二次調整器 _____ MPa	

設備工事(バルク容器)届書(別紙2-1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 藏 能 力		Kg (Kg × 基)	
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添付書類
貯 藏 能 力 千 キ ロ グ ラ ム 未 満	イ カップリング用液流出防止装置付き液取入バルブ	カップリング用液流出防止装置 (①試験合格品・②大臣認定品)	
	ロ ガス取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	ハ 液取出バルブ及びガス放出防止器等	ガス放出防止器・緊急遮断装置 (①試験合格品・②大臣認定品・③その他・④無)	
	ニ カップリング付き均圧バルブ	有(カップリング ①試験合格品・②大臣認定品)・無	
	ホ 液面計	①試験合格品・②大臣認定品・③その他 方 式: _____	
	ヘ 過充填防止装置	①試験合格品・②大臣認定品・③その他	
	ト 付属機器イ～ヘの保護	プロテクター厚さ _____ mm	
	チ 警戒標	表示内容: 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
	リ 緊急連絡先の表示	表示内容:	
	ヌ 腐食防止措置	1. 鑄止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm	
	ル スカート又はサドル等	①スカート・②サドル・③その他	施工時写真
	ヲ 基礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工時写真
	ワ 車輌が接触しない措置	措置方法:	施工時写真
	カ 安全弁放出管の設置		施工後写真
	ヨ 2m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法:	配置図(火気距離示す) ・構造図・施工後写真
	タ 常に40℃以下に保つ		構造図

設備工事(バルク容器)届書(別紙2-2)

2号 (貯蔵能力 千三キ 千ロキ グロラ グムラ 以ム上 未満)	イ 保 安 距 離	用途地域等(①工業専用地域・②工業団地・③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 障壁の有無 有 • 無	設置場所付近配置図 保安距離を示す図面 (斜角距離を含む。) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ 火気を取り扱う施設距離 及び液化石油ガスの流動 を防止する措置	火気を取り扱う施設距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 液化石油ガスの流動を防止する措置 _____	耐火性の壁類等の 配置図及び構造図
	ハ 屋根又は遮へい板	材質:	構造図
	ニ 消火設備の設置	消火器の個数 _____ 個 消火器の能力A- () B- ()	設置場所の位置図
	ホ 規則19条1号イ～カ までの基準	(別紙2-1)	
4号	容器は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa	
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有 • 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、 告示に定める要件に 適合する資料
6号	容器と調整器の間の液状 液化石油ガスの滞留防止	①単段減圧式を ^{プロ} テクター内・②二段減圧式 分離型の一次側を ^{プロ} テクター内・③その他	施工後写真
7号	規則第18条第4~7号, 第8号の2~ 16号, 第18~22号の基準	(別紙3)	
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽～調整器 _____ MPa 調整器～メータ _____ MPa 一次調整器～二次調整器 _____ MPa	

様式16.3-3(バルク様式4-3)

設備工事(バルク供給)届書(別紙3)

2 供給状況等

高圧部	主な管の材料			
中・ 低 圧 部	露出部	主な管の材料		
	埋設部	主な管の材料	深さ m	
	ピット	① 有(図面に明記すること。) • ② 無		
供 給 状 況	調整器	①自動切替式(1. 分離型・2. 一体型) ②二段減圧式(1. 分離型・2. 一体型) ③単段減圧式	能力 kg/h	
	メーター	①マイコンⅡ • ②S • ③SB • ④E ⑤EB • ⑥その他() , _____号		
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	① 有 • ② 無		
	対震自動ガス遮断装置	① メーター内蔵 • ② 感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	① 有(1. 流量検知式・2. 圧力検知式・3. 流量検知式圧力監視型) • ② 無		
	気化装置 (添付書類)	① 有(形式_____, 能力 kg/h (認定書の写し)) • ② 無		
消火器		能力単位 A-(), B-() 本数() 本		

3 充てん設備に係る事項

項目	対応事項	添付書類
充てん事業者	名称_____	
充てん設備の種類	① 規則第64条第1項に基づく設備(新型) ② 規則第64条第2項に基づく設備(従来型)	
車両登録番号	登録番号_____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号_____ 番号_____	
許可番号及び許可年月日	許可番号_____ 許可年月日 年 月 日	
車両停車位置	第1種保安物件までの距離 _____m 第2種保安物件までの距離 _____m	停車位置付近の図面

設備工事(バルク供給)届書(別紙4)

4 設備士等

設備士名	設備士免状番号		県 No.
設備士再講習受講年月日	年 月 日		
ポリエチレン資格者氏名	資格番号		
配管用フレキ管資格者名	資格番号		
施工後の表示	① 有 · ② 無	施工完了年月日	年 月 日
工事業者連絡先電話番号			
販売事業者名・電話番号	① 有 () · ② 未定		

5 その他の添付書類

1	現地への案内図(最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し(再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。)
4	気密試験結果(自記圧力計の記録用紙の写し) *中圧部分がある場合はその結果も必要